

当社では初の受賞となります

「成田スカイアクセス」 「第9回日本鉄道賞」受賞が決定！

本年7月17日に開業した「成田スカイアクセス」の「第9回日本鉄道賞」受賞が決定しました。この賞は、日本鉄道賞表彰選考委員会が、他の先例となるような新しい鉄道サービスの提供、新しい技術の開発、地域と一体となった取り組み等により鉄道事業の発達、利用者利便性の向上等について功績のあった事業者や団体を表彰するものです。

この度の「第9回日本鉄道賞」の受賞は、当社のほか、新線区間（印旛日本医大～空港第2ビル間）の整備を行った成田高速鉄道アクセス(株)、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構との連名受賞となっており、「都心と成田空港間を36分と成田空港を身近にしたことや、新型スカイライナーによる最高時速160km運転の実施、関係者調整を行い着工から4年数ヶ月という短期間での開業、さらに大幅な建設費の低減や貴重な鳥類の保護といった環境保全への取り組み」等が評価されたもので、当社が同賞を受賞するのは、初めてとなります。



「第9回日本鉄道賞」の受賞が決定した「成田スカイアクセス」を走る車両
＜左：アクセス特急用車両（3050形）、右：新型スカイライナー（AE形）＞

「第9回日本鉄道賞」の受賞について

1. 受賞した賞
「第9回日本鉄道賞」
2. 受賞内容
成田スカイアクセス『JAPAN SPEED 日本の空港アクセスを世界クラスへ』
※新線区間（印旛日本医大～空港第2ビル間）の整備を行った成田高速鉄道アクセス(株)、
（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構との連名受賞となります。
3. 表彰日
平成22年10月14日（木）
※鉄道の日記念式典及び祝賀会（於：京王プラザホテル）にて表彰予定
4. 受賞理由
都心～成田空港間を最速36分と成田空港を身近にしたこと、新型スカイライナーによる最高時
速160km運転の実施、快適性向上並びに多くの関係者調整を行い着工から4年数ヶ月という
短期間での開業、更に大幅な建設費の低減や貴重な鳥類の保護といった環境保全への取り組みな
ど、空港アクセスの改善のみならず、地元調整、工期短縮、工事費低減、自然環境配慮等の各種
取り組みが評価されたため。
5. 成田スカイアクセスの概要
成田スカイアクセスは、京成高砂から、北総線の終点である印旛日本医大を経て、成田空港まで
を結ぶ、全長51.4kmの新しい成田空港アクセスルートです。
このアクセスルートに、在来線では国内最速となる最高時速160kmで走行する新型スカイラ
イナーを運行し、都心（日暮里）と成田空港（空港第2ビル）を最速36分で結びます。
成田空港へは、ピーク時1時間あたり、成田スカイアクセス経由でスカイライナー3本、アクセ
ス特急3本、これに加え、京成本線経由の一般特急3本を合わせ9本の運行体制となり、成田空
港アクセスが飛躍的に向上しました。

【ご参考】

1. 「日本鉄道賞」について
「鉄道の日」創設の趣旨である「鉄道に対する国民の理解と関心」を一層深めるとともに、鉄道
の今後一層の発展を期することを目的として、鉄道開業130周年にあたる平成14年（200
2年）に創設された表彰制度であり、本年で第9回目を迎えます。
2. 「鉄道の日」について
明治5年（1872年）10月14日に新橋・横浜間に国内最初の鉄道が開通したことを記念し、
10月14日を「鉄道の日」と決めました。
この日を中心に、JRや民鉄等、鉄道関係者が一堂に会し、鉄道の発展を祝うとともに多彩な行
事を実施しております。

以 上